

F/T09

フェスティバル/トーキョー
PRESS RELEASE

F/T ステーション

11月13日(金)～12月20日(日)

休館日: 11月24日、30日、12月7日、14日

於: 東京芸術劇場前 特設ドーム



© 蓮沼昌宏 ※写真は F/T09 春開催時のものです。

インフォメーション&カフェである「F/T ステーション」。
F/T09 春で大好評を博した伊藤キムプロデュース『おやじカフェ』が再開店する
ほか、若手演劇チーム「快快(ファイファイ)」の参加型イベントや、
アーティストによるトーク、ライブなど様々なイベントを開催。

お問合せ: フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 <http://festival-tokyo.jp/>
〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨 4-9-1 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン内 TEL 03-5961-5202/FAX 03-5961-5207
制作担当: 小滝友見子 yumicota@gmail.com、宇津木信之介 salad-anniversary@hotmail.co.jp

/ F/T ステーションとは

「場」としてのフェスティバルを体現するプラットフォーム

東京から発信する、日本を代表する舞台芸術の祭典「フェスティバル/トーキョー」。世界中、日本中の出演者、観客……数多くの人々が出会う“フェスティバル”という非日常を体現する場、それが「F/T ステーション」です。

すべての人に開かれ、誰もが集い、語りあうことのできる F/T の“ひろば”として「F/T ステーション」があります。インフォメーション機能はもちろん、フェスティバルの大きな可能性である新たなコミュニケーションの発生—アーティスト同士、観客同士、時にアーティストと



© 蓮沼昌宏

観客が、劇場とは異なったゆるやかな空間で触れ合うことを担うのもこの“ひろば”の役割です。このことは参加者それぞれにとっての F/T の意味を深め、作品について考える機会になるでしょう。

また「F/T ステーション」は、人と劇場、街と劇場をつなぐ役割も果たします。劇場という、チケット購入者だけが入ることのできる場所で開催されているフェスティバルを、より幅広い人々に伝え、体験してもらうきっかけを提供しています。春に引き続き再開店する伊藤キムプロデュース『おやじカフェ』や、若手演劇チーム快快(ファイファイ)による参加型イベントのほか、『4.48 サイコシス』演出の飴屋法水や、『フォト・ロマンス』演出のラビア・ムルエによるライブ等、さまざまなイベントが開催され、これまで舞台芸術に興味を持っていなかった層にも、フェスティバルを身近に感じてもらうことができます。

F/T09 春期間中(2009年2月26日~3月29日)は、東京芸術劇場横にある池袋西口公園に、直径 11m×高さ 6m のドーム型のテントを 2 つ設置し、多くの方の注目を集め、約 28,000 人もの来場者がありました。

秋の開催時には、設置場所を東京芸術劇場正面に移動し、劇場での演目との連携を強めていきます。また、春には芸術劇場 B1 階展示室に設置しておりましたアーカイブ展示などを行う「プレスセンター」の機能を追加してパワーアップ。F/T の情報発信の中心地となります。

/ 機能

・インフォメーション

F/T の窓口として、お客様からのさまざまなご質問に対応するほか、全演目と参加アーティストの資料や映像を閲覧できます。チケット販売も行います。

・アーカイブ展示

モニターを複数台設置し、F/T 春の作品やインフォメーション映像の上映、資料を展示します。また、上演終了した作品の舞台写真や、掲載記事を随時掲出していきます。

・ショップ

F/T の演目やアーティストに関連した書籍、DVD、CD 等、劇場の外では手に入りづらいものから、舞台芸術に関する書籍、F/T 記事掲載誌のほか、バンダナ、T シャツといった限定オリジナルグッズまで幅広く販売します。

・カフェ

オリジナルメニューが楽しめるカフェであり、また、さまざまなイベントが開催される空間でもあります。お茶を飲みながら、インフォメーションの資料を閲覧することもでき、気軽に F/T を楽しむことができます。

/ 開催予定イベント

■伊藤キムプロデュース「おやじカフェ」

春に多くの人を沸かせたあの『おやじカフェ』が、この秋パワーアップしてカムバック！！
魅力的なおやじたちから目が離せません。

開催日：計 10 日

11/14(土)、15(日)、21(土)、22(日)、28(土)、29(日)、12/5(土)、6(日)、12(土)、13(日)

営業時間：各日とも 12:00～22:00 *約 30 分おきに、パフォーマンスを披露

入場料：無料

*** 予約なしで自由に入場可。ただし、ドリンク・フードのオーダー必要。**

F/T09 春で多くの人を沸かせ、立ち寄る人々を不思議な一体感に包み込んだ『おやじカフェ』が、この秋池袋に帰ってきます。カフェの店員は前回同様公募で集まった自称“おやじ”の面々。伊藤キムが指導するゆるやかな身体ワークショップを通じ、年を重ねた男の身体に魅力を見出した“おやじ”が体を張ってお客様をおもてなしします。

2 回目となる今回は、前回から引き続き参加の“先輩おやじ”組と、新規参加の“ニューおやじ”組が登場します。自らの輝ける可能性について気が付いてしまった“先輩おやじ”組が、さらにきらめきを増していく中、“ニューおやじ”組も、新たなる自己を見出すことができるのか。

「カッコいいとカッコ悪いを兼ね備えた器の大きなオトコの魅力」が際立つダンスを、おやじたちのおもてなしとともにご堪能あれ。

■■アーティスト・プロフィール

伊藤キム Kim Itoh
振付家・ダンサー



© 山口遊

1987年、舞踏家・古川あんに師事。90年、ソロ活動を開始。95年、ダンスカンパニー「伊藤キム＋輝く未来」を結成。「日常の中の非日常性」をテーマにした風刺と独特のユーモアを交えた作品を発表。

96年、『生きたまま死んでいるヒトは死んだまま生きているのか？』でバニョレ国際振付賞を受賞し、活動の場を海外にも広げ、その後は、ほぼ年1作のペースで新作を発表。国内に加え、フランス・ドイツ・イギリス・スペイン・アルゼンチン・オランダ・アメリカ・カナダ・デンマーク等にて公演を行っている。01年、海外から招聘したカウンターテナー歌手兼ダンサー2名と室内楽演奏家5名を振付・演出し、伊藤キム本人も出演した『Close the door, open your mouth』（製作：新国立劇場）、カンパニー作品『激しい庭』（共同製作：世田谷パブリックシアター、びわ湖ホール）を発表し、第1回朝日舞台芸術賞において、清新な活躍を見せた個人・団体に送られる寺山修司賞を受賞。

劇場内での公演に加え、03年からは、『階段主義』と題し、「階段」という日常的な空間に身体を放り出すことをコンセプトに、パブリックスペースを活用した新たなダンス・パフォーマンスの演出を開始し、これまでに大阪、高知、神戸、東京、佐世保、広島、岩手の7都市にて公演した。

05年、「愛地球博」の前夜祭パレードで総合演出をつとめる。白井剛氏とのデュオ『禁色』、カンパニー作品『未来の記』を発表。05年から06年にかけて、バックパックを背負って半年間の世界一周の旅に出る。07年春より「伊藤キム＋輝く未来」から「輝く未来」にカンパニー名称を変えて新たな形態でカンパニーを再始動する。08年度横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。京都造形芸術大学准教授。

■■前回参加者の声

Q.おやじカフェに関わってよかったことは？

お客様が積極的に関わってくれたことは感激でした。でも何より、少しずつではありますが、自分が日に日に進歩して行くことでした。前にはできなかったことが、できるようになるというのは大人になってからはあまり体験できないことでした。(40代参加者)

私は舞台とかパフォーマンスの経験がなかったので、人から拍手をもらうことなんて皆無でした。そんな私(達)に向けて惜しみのない拍手をいただけたのは、ほんとに鳥肌が立ちました。約 2 か月にわたって、研修、準備を重ねていくなつて、まるで部活動というか、学園祭の準備みたいな感じでかなり楽しかったです。(40 代参加者)

いろんなおやじに会えたこと。仕事の関係やこれまでの友人関係では絶対接点のないだろう方々と時間を共有できたことは、短い時間でしたが、とても貴重な体験でした。自分が 60 歳を過ぎた時のことを想像するのはまだ難しいのですが、その年齢であってもこんな風を楽しむことができるということを時間と場を共有することで実感できました。自分の年齢やそれまでの経験が積みあがって、贅肉もついた「ちょっと不自由な身体」というのもなかなか面白いかもしれないと思いました。(30 代参加者)

■ おやじカフェ キャスト/スタッフ

コンセプト・振付	伊藤キム
出演	公募で集まった「おやじ」たち 20 数名
振付アシスタント	石川健次郎、小林由佳、田中達朗、服部晴子、平山 学
制作協力	ハイウッド
製作	フェスティバル/トーキョー

■ 快快のパラリラリラ

池袋をもっとポップに！ハッピーに！！

快快がお客様を巻き込んで、楽しいイベント、やりますよ。

開催日: 計 6 日 11/13(金), 20(金), 27(金), 12/4(金), 11(金), 18(金)

時間: 未定

演劇の枠を飛びこえ、ダンスや現代美術の要素をとり入れた作品で注目を集める若手演劇チーム快快(ファイファイ)による、観客参加型パフォーマンスを開催します。

彼らの作品は、驚きと楽しさにあふれながら、今生きているこの世界を、鋭く見つめ切り取り内包するものです。さまざまなジャンルのカルチャーや人々が行きかう池袋という街に、快快が何を見つけ、何を表現するのか、注目です。

F/T ステーションが、ポップでキュートな遊び場に変身します。

■■アーティスト・プロフィール

快快／ふあいふあい／faifai



© 加藤和也

2004年結成、13人のメンバーによる東京のカンパニー。

ステージ、ダンスの他、映像制作、ケータリング、パーティ、展示、イベントの企画等、常にたのしく新しい「場」を発信。

私たちが生きている今をポップにパッケージングする、ハッピーオーラ集団。

メンバーは、日本人、外人、コスプレイヤー、デザイナー、料理人、フィギュア作家など様々な属性を持つ。

「今」の複雑さに向かいながらいつのまにか幸福感に満たされてゆく作品性は、たくましい都市と人そのもの。

2009 サマーツアーでは、代表作「My name is I LOVE YOU」でヨーロッパ各国を巡る旅へ！

そんな快快についてあだ名は、「トラッシュ＆フレッシュな日本の表現者」

夢にまでみた 21 世紀、みんなで世界を盛り上げよう！

※同メンバーで 08 年 3 月末日まで、小指値(コユビチ・koyubichi)として活動。

主な上演作品

2005 年『MY NAME IS I LOVE YOU』(中野 STUDIO SA)、『俺は人間』(新宿 タイニイ・アリス)、小指値が主催する歌と踊りのエンターテイメント 『KOYUBICHI Nightz』(青山 MANDALA)、06 年『Zeller Schwarze Katz』(中野 STADIO SAI/渋谷 LE DECO 4F)、『Zeller Schwarze Katz[論文編]』(王子小劇場)、labo#20 ST スポットラボアワード(キュレーター桜井圭介)参加 『I wanna be a machine but...』(ST スポット)、「欽ちゃん&香取慎吾の全日本仮装大賞」予選参加 『パワーズオブテン』(日本テレビ予選会場)、07 年『KOYUBICHI Nightz 2nd anniversary』(新作『¥2000』発表・STAR PINE'S CAFÉ)、「第 15 回ガーディアン・ガーデン演劇フェスティバル」参加 『I wanna be a machine but... (PROTOTYPE)』(マーメイド koyubichi による X JAPAN「紅」・吉祥寺シアター)、『Mrs Mr Japanese』(王子小劇場)、「プロペラ犬」(水野美紀 楠野一郎)旗揚げ公演 『マイルドにしぬ』美術担当、08 年「冬のサミット」参加 『靈感少女ヒドミ』(原作: ハイバイ・こまばアゴラ劇場)、『ジンジャーに乗って』(王子小劇場)

08 年 世田谷芸術アワード“飛翔”舞台芸術部門 受賞

09 年 8 月 ヨーロッパツアー Hungary(Szkene Theatre Budapest), Netherlands(Noorderzon Festival), Slovenia(Mladi Levi Festival), Germany(Asia-Pacific Weeks)

■ 飴屋法水 ライブ (仮)

F/T09 春『転校生』、09 秋『4.48 サイコシス』を演出する飴屋法水によるライブを開催。

開催日: 12 月 19 日(土)

時間: 未定

※詳細は、後日フェスティバル/トーキョーオフィシャルサイトにて発表します。

■ ラビア&シャーベル ライブ (仮)

レバノンでは音楽家としても活動する『フォト・ロマンス』の演出家ラビア・ムルエと、レバノンのエレクトロ・エクスペリメンタルの担い手シャーベル・ハベール、二人による即興ライブを開催。

開催日: 11 月 28 日(土)

時間: 未定

※詳細は、後日フェスティバル/トーキョーオフィシャルサイトにて発表します。

※他、F/T ステーションで開催のイベントに関しては、ホームページで随時発表していきます。ご確認ください。

/ F/T ステーション スタッフ

空間構成	遠藤 豊(LUFTZUG)
特別協力	株式会社プリズム
製作	フェスティバル/トーキョー

/ 写真/クレジット一覧

参考写真『おやじカフェ』『F/T ステーション』



F/T09 春『おやじカフェ』(2009) © 蓮沼昌宏 Masahiro Hasunuma

ポートレート:

伊藤キム



© 山口遊 Yu Yamaguchi

快快(ファイファイ)



© 加藤和也 Kazuya Kato

- ・ご利用になる場合は、写真家のクレジットを必ず併記してください。
- ・原則、トリミング及び加工は不可。
- ・それぞれの写真で、写真家名が異なりますのでご注意ください。